

平成28年度防災講演会を開催いたしました。

☆ 今回の防災講演会は横浜市消防訓練センター創立40周年記念講演会を横浜市消防訓練センターと公益社団法人横浜市防火防災協会が共催して開催いたしました。



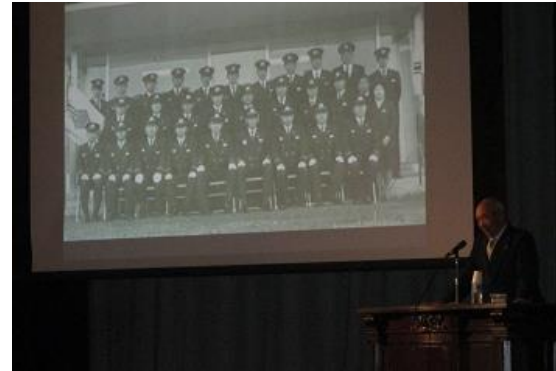
会場の様子



開会あいさつ／講演の様子



祝宴の様子(石井会長の挨拶)

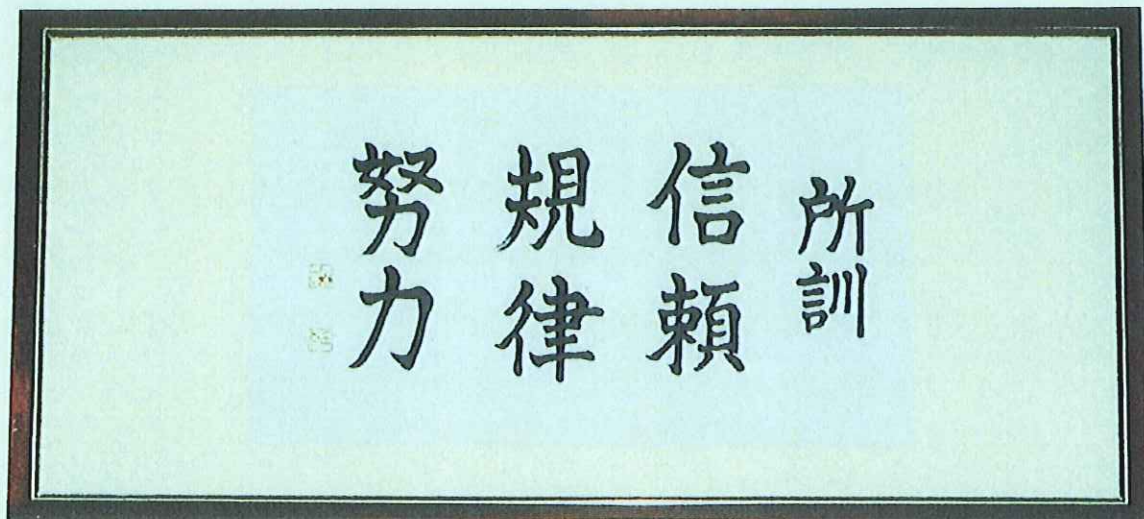


【第一部】

演題：「体育訓練担当課長 今昔物語」
講師：横浜市消防訓練センター初代体育教官
本田 大三郎氏

【第二部】

演題：「優秀な人材が働きたくなる組織の作り方」
講師：株式会社 平成建設 代表取締役社長
秋本 久雄氏



消防訓練センター所訓

消防訓練センター40周年記念行事実行委員会

| | | | |
|------|-----------------|---------------|-------|
| 委員長 | 横浜市消防団長会 | 会長 | 徳江 傳三 |
| 副委員長 | 公益社団法人横浜市防火防災協会 | 会長 | 石井 忠 |
| 委員 | 横浜市消陽会 | 会長 (元横浜市消防局長) | 鈴木 洋 |
| 委員 | 横浜市消防生活協同組合 | 常任理事 | 鈴木 貴晶 |
| 委員 | 横浜市消防訓練センター | 所長 | 吉原 晴彦 |

※本講演会は、公益社団法人横浜市防火防災協会と共催にて開催させていただきました。

消防訓練センター創立 40 周年にあたり

本日は、公務等多忙な中、御参加を頂き厚くお礼申し上げます。

御案内のとおり、当訓練センターは、昭和 51 年 4 月、本市都市防災の総合力を高めることを目的に、消防職・団員はもとより防災関係機関や市民の皆様方の消防防災に関する基礎的・専門的教育訓練の地として、ここ戸塚区深谷町に設置され、今年で 40 周年を迎えることができました。

この間、開設まで準備段階から、各種施設整備、教育訓練の充実強化に至るまで、御尽力をいただきました諸先輩方、当センター運営に深い御理解と御協力をいただきました防災関係諸団体及び近隣住民の皆様、改めまして深く敬意と感謝の意を表す次第です。

顧みますと、特にここ 10 年、全国各地で地震や風水害などの大規模災害が頻発するなど消防を取り巻く環境は急変するとともに市民意識も変化してまいりました。消防活動にさらなる高度な知識・技術が要求されるとともに、消防に託された使命は増大の一途をたどっております。

市民皆様の期待に応えられる職団員や防災関係者を育成するために、当センターでは「変化する社会の要請に応えられる人材づくり」を教育の基本方針と定め、熱意をもって各種教育にあたってまいりました。

今後は、大規模災害に加えラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックなど、全世界が注目するイベントが目白押しで、それに見合った国際感覚を持った職員の育成が求められるなど、当センターの責務は益々大きくなってまいります。私どもは人材育成を通じ、国際都市横浜の安全を守り抜く所存であります。

結びに、これまでに御支援、御協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後の益々の御支援並びに皆様方の益々の御発展を祈念して、創立 40 周年の節目のことばとさせていただきます。

平成 28 年 11 月 18 日

実行委員長 横浜市消防団長会会長 徳江傳三

消防訓練センター所長 吉原晴彦

次 第

開会あいさつ 横浜市消防訓練センター所長 吉原 晴彦

講演会

【第一部】

演題：「体育訓練担当課長 今昔物語」

講師：横浜市消防訓練センター初代体育教官

現 マホロバ・ホンダ・カヌースクール代表

本田 大三郎氏

【第二部】

演題：「優秀な人材が働きたくなる組織のつくり方」

講師：株式会社 平成建設 代表取締役社長

秋元 久雄氏

秋元久雄 氏

大手ハウスメーカーや地元ゼネコンでの
トップセールスを経て、平成元年、(株)平
成建設を創業。正社員を多能工として養成
し、建築プロセスの内製化に成功。新卒で
大工や職人を募集する唯一の会社として就
職人気も高い。「ガイアの夜明け」(テレビ
東京)、日経ビジネスなど様々
なメディアで取り上げられ
ている。著書に『高学歴大
工集団』(PHP)ほか



本田大三郎 氏

自衛隊入隊時、1964年の東京オリンピック
で正式種目として採用されたカヌー競技
へ出場(日本初のオリンピックカヌー選手)、
現役引退後は72年ミュンヘン五輪で強化コ
ーチを務めた。その後、横浜市消防局消防訓
練センターにて体育担当教官として約20年
勤務、現在はマホロバ・ホンダ
カヌースクールの代表を務め
る。著書に『スポーツでここ
ろを強くする子育て』ほか。

